

2023 年度 環境フィールドスクール「長崎の大気環境の計測」

環境フィールドスクール「長崎の大気環境の計測」(担当：河本和明教授、中山智喜准教授)が 2023 年 10 月 7 日(土)に行われ、学生 8 名が参加しました。

最初に、標高 1300 m の雲仙ロープウェイの山頂(妙見岳) 駅で、大気中の浮遊微粒子である $PM_{2.5}$ や霧を構成する粒子を計測する機器を見学しました。 $PM_{2.5}$ の計測は島原半島の複数地点で行っており、高度の異なる地点で $PM_{2.5}$ を計測することは、越境大気汚染と近隣からの汚染の状況を知るための重要な基礎データとなります。また山頂から見える雲について、その性質や生成メカニズムについて説明がなされました。

次に、小浜マリパークで火山性ガスの観測の様子を見学しました。火山性ガスを観測することで、地下の火山活動や温泉水の状況を把握できると期待されます。マリパークでは、足湯にも浸かり、火山の恵みを堪能しました。

また一日を通じて、参加者がモバイル計測器を身につけて $PM_{2.5}$ などの大気測定を体験し、その結果を考察するレポート課題が与えられました。



雲仙ロープウェイ山頂駅での説明の様子



小浜マリパークでの説明の様子